

JIS

下水道構造物のコンクリート腐食対策技術一 第3部：防食施工標準

JIS A 7502-3 : 2015

(JCEP/JS/JSA)

平成 27 年 3 月 24 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|---------|--|
| (委員長) | 宇 治 公 隆 | 首都大学東京 (公益社団法人土木学会) |
| (委員) | 綾 野 克 紀 | 公益社団法人日本コンクリート工学会 (岡山大学) |
| | 伊 藤 康 司 | 全国生コンクリート工業組合連合会 |
| | 木 幡 行 宏 | 室蘭工業大学 |
| | 近 藤 秀 貴 | 一般社団法人セメント協会 |
| | 清 水 和 久 | 特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (旭コンクリート工業株式会社) |
| | 須 田 久美子 | 鹿島建設株式会社 |
| | 棚 野 博 之 | 独立行政法人建築研究所 |
| | 塚 本 良 道 | 公益社団法人地盤工学会 (東京理科大学) |
| | 津 川 優 司 | 一般社団法人日本建設業連合会 (飛鳥建設株式会社) |
| | 早 川 光 敬 | 一般社団法人日本建築学会 (東京工芸大学) |
| | 久 田 真 | 東北大学 |
| | 真 野 孝 次 | 一般財団法人建材試験センター |
| | 渡 辺 博 志 | 独立行政法人土木研究所 |

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：平成 27.3.24

官 報 公 示：平成 27.3.24

原 案 作 成 者：一般社団法人日本コンクリート防食協会

(〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-4-5 レイアード大手町ビル TEL 03-5280-3071)

地方共同法人日本下水道事業団

(〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-27 湯島台ビル TEL 03-6361-7800)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 宇治 公隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|-------------------------|-----|
| 序文 | 1 |
| 1 適用範囲 | 1 |
| 2 引用規格 | 1 |
| 3 用語及び定義 | 1 |
| 4 防食被覆工法の適用条件 | 2 |
| 5 防食被覆層の品質 | 2 |
| 6 防食被覆工事の一般的施工方法 | 2 |
| 6.1 防食被覆層を施すコンクリートの処理 | 2 |
| 6.2 防食被覆層の施工 | 2 |
| 7 検査 | 3 |
| 7.1 防食被覆層の施工前の検査 | 3 |
| 7.2 防食被覆層の検査 | 5 |
| 8 報告 | 6 |
| 附属書 A (参考) 施工管理・検査の記録項目 | 7 |
| 解 説 | 12 |

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本コンクリート防食協会（JCEP）、地方共同法人日本下水道事業団（JS）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、国土交通大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。国土交通大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS A 7502 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS A 7502-1 第 1 部：基本概念

JIS A 7502-2 第 2 部：防食設計標準

JIS A 7502-3 第 3 部：防食施工標準

下水道構造物のコンクリート腐食対策技術— 第 3 部：防食施工標準

Corrosion protection technology of sewerage concrete structures— Part 3: Construction standards for prevent sulfuric acid corrosion

序文

この規格は、下水道構造物のコンクリート腐食対策技術に用いる防食被覆工事の施工方法及び検査方法を規定することによって、防食被覆工事の施工品質向上に寄与することを目的とする。

1 適用範囲

この規格は、下水道法で定められた終末処理場及びポンプ場において、硫化水素に起因する硫酸によるコンクリート腐食への対策に用いる防食被覆工法を適用する施設の施工方法、検査について規定する。ただし、防食被覆工法のうち、有機系被覆材を用いる塗布型ライニング工法及びシートライニング工法、並びにセメントを主成分とする無機系被覆材を用いるモルタルライニング工法を対象とする。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 0203 コンクリート用語

JIS A 7502-1 下水道構造物のコンクリート腐食対策技術—第 1 部：基本概念

JIS A 7502-2 下水道構造物のコンクリート腐食対策技術—第 2 部：防食設計標準

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS A 0203**、**JIS A 7502-1** 及び **JIS A 7502-2** によるほか、次による。

3.1

後貼り工法

シートライニング工法のうち、既設のコンクリートに対して接着剤などで直接シートを貼り付けて固着する工法。

3.2

型枠工法

シートライニング工法のうち、シートを仮固定した型枠を組み立てた後、シート背面にコンクリートなどの充填材を充填し、コンクリートと一体化する工法。

なお、充填材が硬化した後に仮固定した型枠は、取り外す。